

一般会計予算総額

経常収支比率 96.0% (前年度 96.0%)
 実質公債費率 13.6% (前年度 12.3%)

159 億 3,000 万円

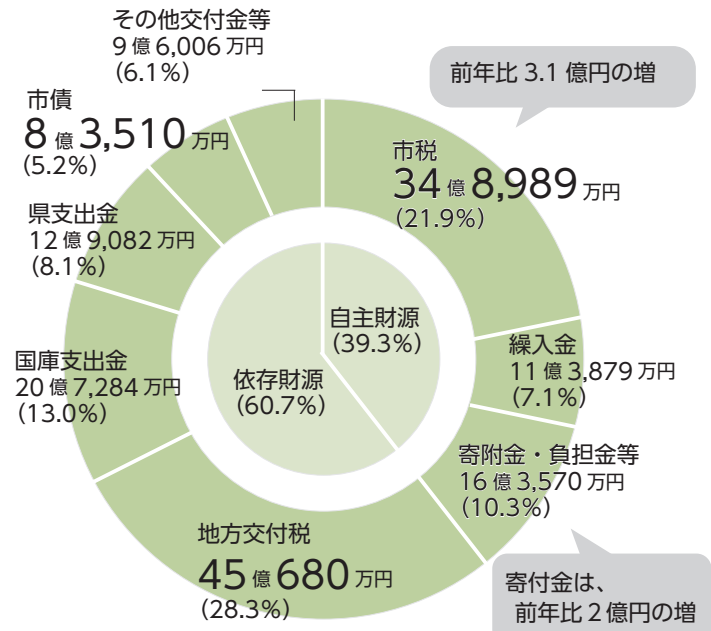
前年度比 2億6,000万円の減

ポストコロナに対処し 将来にわたって持続可能な財政運営

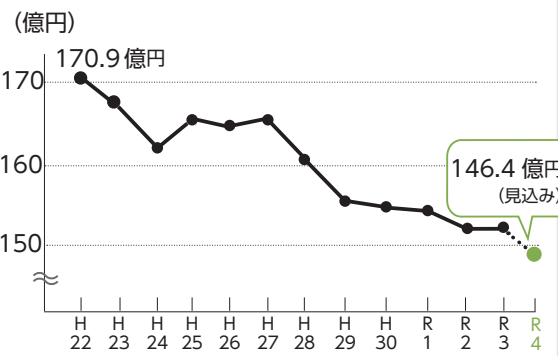
歳入については、市税は、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復により前年度比で9.7%の増を見込みました。また、寄附金・負担金等についてはふるさと納税の増加見込みから前年度比1億9669万円の増を見込んでいます。地方交付税は、前年度交付実績や地方財政計画などを勘案して前年度比12.5%の増（普通交付税は前年

度実績比で3.7%の減）と見込んでいます。歳出については、物件費はふるさと納税事業費や新型コロナウイルススワクチン接種委託料などの増加により前年度比24.4%の増、投資的経費は新温浴施設建設工事などの完了により減少し、前年度比27.5%の減、一般行政費は、前年度比0.2%の増で計上しました。

一般会計の歳入



借入金残高の状況

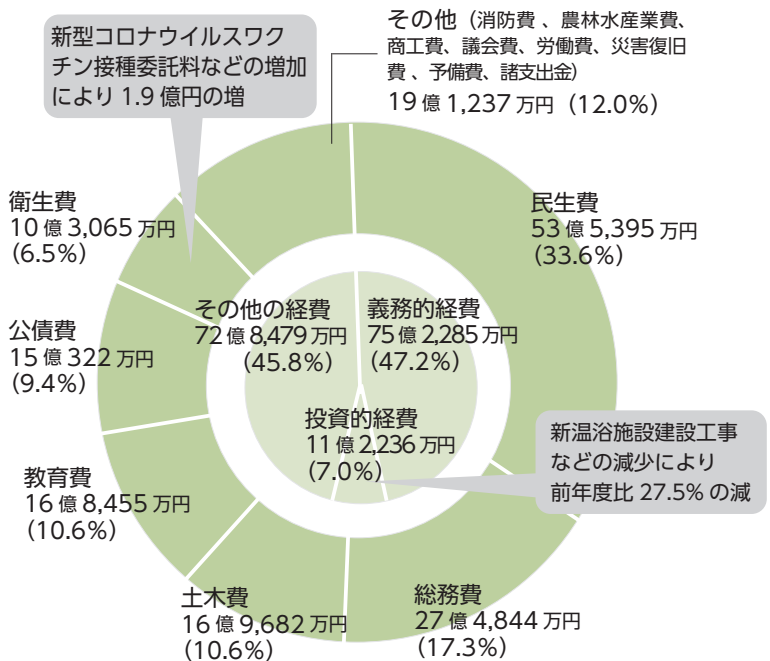


これまで、一般会計予算を確保しつつ、借入金残高を減らしてきました。コロナ禍以来、財政出動を図っておりますが、昨年度も借入金は微増に留まり、今年度も借入金残高は昨年度比5億円の減の見込みで、次世代に負担を残すことなく健全な財政運営を図っています。

※当初予算について、詳しくは市ホームページをご覧ください。



一般会計の歳出



※括弧内は全体に占める割合を記載しています。